



会長 佐々木 源 悦
 幹事 岩 渕 正 彦
 会報 江 川 元 徳 氏 家 良 典
 及 川 勝 永 布 施 孝 尚
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2445回例会 2014. 4. 10 No.39

本日の出席率

・本日の出席率 76.8%

ニコニコボックス

- ・猪股育夫副会長 佐々木源悦会長のご尊父様のご冥福をお祈りします。熊谷敏明会員のご長男英敏様、ご結婚おめでとうございます。富士原裕子国際奉仕委員長、フォーラム宜しくお祈りします。
- ・佐藤敬喜会員 妻周子、3月23日誕生日でした。お花ありがとうございました。ゲストスピーカーをお迎えして。
- ・菅野幸一郎会員 佐々木源悦会長のご尊父様のご冥福をお祈り申し上げます。
- ・富士原裕子会員 今日は国際奉仕委員会のフォーラムです。ゲストお二人をお迎えして楽しいフォーラムになるように頑張ってみます。よろしくお祈りします。
- ・鈴木彦太会員 本日の国際奉仕委員会のフォーラム、富士原裕子委員長のご活躍を祈念します。
- ・布施孝之会員 国際奉仕委員会のフォーラムに期待。
- ・佐藤幸一会員 国際奉仕委員会のフォーラム。富士原裕子委員長とゲストスピーカーの方々に期待。
- ・阿部泰彦会員 富士原裕子国際奉仕委員長、フォーラムご苦労様です。
- ・高橋義文会員 本日の国際奉仕委員会のフォーラムを楽しみに期待致します。
- ・二階堂學会員 国際奉仕委員会の富士原裕子委員長のフォーラムにご期待致します。
- ・菅原文之会員 富士原裕子委員長の国際奉仕委員会フォーラムに期待して。
- ・阿部泰彦会員 4月26日、27日、登米風土博覧会開催。4月27日、東北フードマラソン参加者1,500名になりました。ご声援よろしくお祈り致します。

- ・江川元徳会員 桜、そろそろ。春、早く来て！
- ・千葉正宏会員 農作業が始まりました。
- ・岩渕正彦幹事以下、国際奉仕委員会のフォーラムに期待して。

村上武彦会員 及川勝永会員 佐々木崇会員
 千葉吉男会員 氏家良典会員 伊藤俊郎会員
 山田直志会員 佐竹孝行会員 遠藤光則会員
 熊谷敏明会員 高橋利光会員 武川毅会員
 只野佳旦会員 森田一史会員 杉田広仁会員
 及川富男会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 猪股育夫副会長

佐々木源悦会長のご尊父佐々木源助様が4月8日午後6時50分登米市民病院で逝去されました。享年91歳でございます。ご冥福をお祈り申し上げます。佐々木源助様は、佐沼ロータリークラブの第14代の会長を務められました。創立20周年記念誌に歴代会長の回想録がございますので、故人を偲んでその文章を読み上げたいと思います。

『「人生もロータリーも長く」』

私は60歳ですが、お陰様で壮健で佐沼ロータリークラブ創立20周年のお祝いに際し得ましたことは、誠に幸いで有難いことと思っております。

かねて「ロータリー」の規約は非常によく出来ておりますので、国際連盟発足の時は「ロータリー」の規約を参考にしたと聞いております。「ロータリー」では「出席率」を特に重視しておりますが、「出席率」は、つまり会社の勤務の上で、また、すべての社会生活の中で最も大切な事だからでしょう。佐沼ロータリークラブも目標100%の出席率にしたいと思っております。

近頃、人間の寿命がだんだん延びて来たので、人

生もまた長くなって来たように思われますが、今後とも十分に働いて、去る日、来る日を充実した、生き甲斐ある日々をしたいと思っております。』

来る4月12日、熊谷敏明会員のご息様のご結婚式がホテルサンシャイン佐沼で挙行されます。心からお喜び申し上げます。

幹事報告 岩渕正彦幹事

- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く。
- ・4月20日(日)の地区大会にご参加の会員で、バスご利用の方はご連絡下さい。

各委員会報告

- ・親睦活動委員会 (小野寺伸浩委員長)
4月27日~28日に開催されます「お花見移動例会」にご出席の皆様、バスを出しませんので、相乗り、個々に鳴子まで行っていただくこととなります。よろしくご協力の程お願い申し上げます。
- ・ロータリー財団委員会 (高橋義文委員長)
創立50周年記念活動の一環として、ポールハリスフェロー100%認定を理事会にて決定されております。5月30日を締切りとしてお願いを申し上げます。

フォーラム

- ・国際奉仕委員会 (富士原裕子委員長)
ロータリーの要覧に国際奉仕について次の様にありました。

国際ロータリーとは、ロータリーの第四奉仕部門でロータリアンが国際間の理解、親善、平和を推進するために実施出来ること全てから成っております。ロータリーの世界的発展により奉仕の理想の共鳴者が世界中に広がり、自己の繁栄と公共への奉仕が両立する。即ち、志しを同じくする人が手をつなぐことによって国際親善、国際理解が出来るという訳です。こうして世界のロータリアンがその善意を交換し、理解を深めることによって世界平和を打ち立てることがロータリー国際奉仕のねらいなのです。

始まりは、1905年2月23日、ポール・ハリスが友人3人と会合を持った日です。この日を祝う記念日を世界理解と平和の日として尊守され、2月23日から3月1日を世界理解、平和週間と言います。その期間中に国際奉仕委員会によるフォーラムが行われております。当委員会の今年のフォーラムは諸事情により本日にになりました。

国際奉仕委員会の中には、国際奉仕、姉妹クラブ、ロータリー財団、米山記念奨学会の委員会があり、それぞれの委員会活動に協力をすることが義務づけられております。

今年度当委員会の目標として4項目掲げさせていただきました。

1. 青少年交換長期・短期留学生の受入：今年度は築館RCが受入れをしました。
2. 姉妹クラブへの協力：台北西門RC37周年記念式典に参加し、震災支援へのお礼、50周年記念のP

Rをしていただきました。

3. 海外大規模災害時の救援活動：フィリピン災害に対し、会員皆様の寄付を募り送金致しました。
4. 国際ロータリー活動への協力：多くの会員より寄付をしていただき財団の方に送金致しました。

今日は、長期留学生レイチェルさんを受け入れた時、ホストファミリーとしてレイチェルさんのお世話をさせていただいた千葉美智子さん、森田静子さんのお二人をゲストとしてお招きしております。留学生受け入れの様子をお話していただくことになっております。

○千葉美智子さんの話



ゲストスピーカー 千葉美智子さん

一番大変だったのは、最初に受け入れをされた小野寺さんの家族だったのではないかと感じております。レイチェルさんはとても前向きで、何とか言葉を覚えようとしていましたので、思ったよりは苦労はしませんでした。親切、奉仕と言う前に親身になって

することを心掛けてしました。レイチェルさんも素直に受け入れてくれたので楽に接しお世話することが出来ました。今でもフェイスブックを見、時々コメントを入れております。初めての受け入れでしたが、八谷郁夫会員の「普通に接すればよい」というご指導通りやってみました。自分の子供に対するように普通にお世話をさせていただき、私達も大変勉強させていただきました。

○森田静子さんの話



ゲストスピーカー 森田静子さん

レイチェルさんの受け入れについて、千葉美智子さんのお話にありましたように、小野寺さんの家族が一番大変だったのではないかと感じております。

千葉さんの所では日本語もだいぶ上手になり、ずーずー弁も教えられてきたようで、うちに来た時には濁音がだいぶ入った言葉で話していました。それだけ大事にされてきたのだなと家族で話しておりました。平成4年に台湾の方4人を3泊4日で受け入れたのが初めて、それから登米市から子供さんを10回位受け入れをしましたが、今思っていますのは、大変だったというより楽しかったということが先ず思い出されます。この様な受け入れを積極的に皆様もされますと、人生がもっともっと楽しいものになるのではないかと感じます。息子もトム君が来てから外国がとても好きになりました。中学3年生の孫にいたっては、外国語を専攻する高校に行きたいという希望を持っています。受け入れをしてほんとうに良かったと思っております。

— 八谷郁夫会員、高橋利光会員より国際奉仕についてお話をいただきました。